

ご あ い さ つ

岡山県小学校教育研究会学校事務部会

部会長 福原 恭子

岡山県中学校教育研究会学校事務部会

部会長 宮本 淑江

初めに、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々にお悔やみを申し上げるとともに罹患された方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、岡山県小中学校教育研究会学校事務部会は、本年度の研究主題に「創造的学校事務を求めて」を掲げ、「会員相互の協調のもとに、学校事務に関する調査研究および研修などを行い、会員の資質向上に資する」ことを目的とし、研究を進めています。

この研究主題をより具現化するために、平成28年度から5年計画で短期テーマとして、「チーム力UP!!実践しよう 学校力向上をめざして」を設定しました。

社会のニーズや教育行政の変化に即した業務や事業の目的達成のために、新たな工夫や発想が必要だからこそ、日々の業務遂行に創造性が求められています。

平成27年12月に示された3つの中央教育審議会答申の具体化のために、平成28年1月『『次世代の学校・地域』創生プラン』が策定されました。地域連携・組織運営・教員制度等の改革が進み、学校や教職員を取り巻く状況も大きく変わって行こうとしています。平成29年4月には事務職員の職務規定が「事務をつかさどる」に改正され、事務の共同実施が法制化されました。平成30年3月には岡山県教育委員会から「事務職員の標準的職務内容について」が通知されました。

わたしたち事務職員には法改正等の趣旨を理解して、マネジメント機能を十分に発揮し、主体的・積極的に学校運営に参画することが求められています。「チーム力」で仕事を進めていくことの重要性和、専門性を活かしつつ、より広い視点で、学校運営チームの一員としての役割が期待されています。学校で働く一人ひとりがそれぞれの力を発揮し、組織全体が1つのチームとして、協力・協働することにより、子どもたちの豊かな育ちにつなげていきたいという思いをこめて、「学校内・学校外のあらゆる関係組織・個人と協働しながら、学校力向上のために具体的実践に取り組む学校事務職員」を目指します。

昨年度から今年度にかけて、長期間の一斉休校など私たちはかつてない経験をしました。このような状況の中で学校事務部会の研究も思うように進めることができていません。しかし、このような状況だからこそ改善の糸口が見えてくることもあると思います。今こそ私たちの力を発揮するときかもしれません。一人ひとりが望ましい事務職員像を思い描けるよう会員同士・各専門部が連携しながら研究を深めていきたいと思います。会員の皆様方には積極的なご意見、ご提言をよろしく願いいたします。